［プラントピアの歴史］

1970 1980 1990 2000

株式会社プラントピア創立以前の現・代表取締役である首藤進の仕事は、
デザイン制作プロダクションや編集・デザイン制作プロダクションに所属し、
二十代のほとんどを集英社の宣伝部の下記の雑誌などの広告制作に拘わり、
その後、独立しプランニングのユートピアを目指し、
株式会社プラントピアを立ち上げた。
創立当初の社員はデザイナー1人、コピーライター1人の計3人で発足。
創立当初はまだ集英社の仕事も行いつつ新たなる業界であるファッションメーカーの仕事に恵まれ、六畳一間のマンションで新境地を目指していた。

【当時拘わっていた集英社関連の主な雑誌】

月刊「少年ブック」廃刊まで・集英社
週刊「少年ジャンプ」創刊より・集英社
別冊「少年ジャンプ」創刊より・集英社
「non・no」創刊より・集英社
週刊「プレイボーイ」創刊より・集英社
月刊「プレイボーイ」創刊より・集英社
「セブンティーン」創刊より・集英社
「週刊明星」・集英社
「明星」・集英社
「りぼん」・集英社
「マーガレット」・集英社
「ヤングセンス」創刊より廃刊まで・集英社
「ジョーカー」創刊より廃刊まで・集英社
「コバルト・ブックス」・集英社
「小説ジュニア」・集英社

このほか
「なぜなぜ理科学習漫画」シリーズなど
集英社発行の単行本の広告関連の制作物を多数手掛ける。
約8年間の後半には月間約100本という勢いで制作していた。

創刊号　創刊号　創刊号　最終号　創刊号

プラントピア創立初年度の初の年賀状

オリエンタル（株）のポスター

1974

株式会社プラントピア創立
プランニングのユートピアを目指す

プラントピア創立以前から8年間行っていた、集英社の雑誌広告制作を停止する
雑誌広告制作の体質脱却と新分野の開拓を目指し、
繊維メーカーの大手「丸増」の第二次製品部門として設立されていた
ファッションメーカー「オリエンタル（株）」の広告宣伝物の制作をはじめる。

筑土八幡町・大越マンションにてスタートを切る

1975

●各出版社のHOW TO書の編集制作業務を重点として再スタートを切る。

●「小学館」「講談社」「学研」「永岡書店」「鶴書房」「双葉社」「日本文芸社」「有紀書房」「池田書店」「ベップ出版」「KKベストセラーズ」「ワニブックス」「徳間書店」「世界文化社」「新声社」「高橋書店」などの編集を手掛け、その数は既に数百冊となる。

●講談社の新雑誌開発部発足と同時に、新雑誌開発企画ブレーンとして加わる。
元「少年マガジン」編集長・内田勝氏と「non・no」「an・an」の対抗馬としての雑誌を目指して一年半にわたり開発を行うが、弊社の体力が持たず断念。

1976

●コンピュータ業界向けの情報誌「月刊システムズマンスリー」を自社より創刊発行する

1977

プラントピア・イラストレーターズ・プロダクション開設
イラストレーターの育成とイラスト制作及び仲介業務を開始する

●雑誌のディレクション及びレイアウトを手掛ける

「面白半分」（面白半分社）
70年代を象徴するサブカルチャー・マガジンとして有名な「面白半分」の表紙デザインを依頼される。
筒井康隆・五木寛之・半村良などの編集長時代の表紙デザイン。
イラストレーターは杉村篤氏・山藤章二氏。
別冊・五木寛之、野坂昭如、開高健などのディレクションと表紙デザイン。

「一流品大図鑑」（講談社）
「中国の旅」（講談社）
ディレクション及びレイアウト。

イラスト・井上　イラスト・山口　イラスト・イカラシ　イラスト・大島　イラスト・佃

1978

本社を下宮比町・飯田橋ハイタウンへ移転。

1980

●おもちゃのバンダイの動く絵本の制作

●漫画家森田拳次氏の「月刊ひとこま」の発行元となる

●ビジュアル思考の時代に向け、ビジュアルHOW TO書の開発を行う。
これを直販出版社「永岡書店」より新シリーズ企画「スポーツ・チャート」として発行。表紙には当時の一流イラストレーターを徹底して起用した。
（空山基氏、吉田カツ氏、永井博氏、大橋歩氏、故ペーター佐藤氏など）
ゴルフ・テニス・スポーツフイッシング・スキー・ウィンドサーフィンなどを制作
ゴルフは既に200万部近く売れ、シリーズものとして大成功する。

「まだ無名の弊社の存在を高く評価していただき、認めていただくために何をすべきか」「それが問題である」とし、一ヶ月間一切の仕事を断り、「今求められている物は何か」について検討した結果このシリーズを考案。
結果、これが功を奏し、「小学館」「学研」「高橋書店」などの出版社から仕事の依頼が来る。弊社として売り込まずに仕事の依頼が来たことは、これが最初であった。

イラスト・空山基　イラスト・吉田カツ　イラスト・大橋歩　イラスト・永井博　イラスト・ペーター佐藤

1982

菓子業界で急成長した実績第一位「十勝甘納豆本舗」の企画・宣伝部門担当、同社の顧問を勤める

●1981年10月
出版社「学研」より月刊「少年つりトップ」創刊に伴い巻頭企画ページを依頼され受託。

1983

●小学館より発行されたホームジャポニカ現代版としてのシリーズ企画制作に参加。
シリーズ「シャトレーヌ」の企画制作を行う。

●1983年9月
『和田アキ子だ 文句あっか！』企画・青山企画（日本文芸社）
シリーズデザイン企画とカバーデザイン、カバーイラスト担当。
発行以前に40万部近くも予約が殺到し、発売から約四ヶ月間の間に100万部に到達。途中からは再販を早くしてくれとの苦情が殺到し、予約注文はあったが途中で発行停止に踏み切り、最終発行部数は131万部、返品5万部という記録的な数字となる。また、実はこれは弊社の当て馬として出したものでもあった。

1985

●出版社・徳間書店及び徳間コミュニケーションズのファミコン攻略本を数多く手掛ける
この仕事をしたことにより、「パチンコ攻略マガジン」の発想が生まれた。

●ファミコン攻略本にヒントを得て、パチンコ攻略本を企画
出版社・双葉社より「マル秘パチンコ必勝攻略本シリーズ」（B6版）を発行

1987

本社を下宮比町・グランドメゾン飯田橋へ移転。

●雑誌「パチンコ攻略マガジン」創刊（隔月で発行）

出版業界初「本格攻略情報雑誌」の誕生。
それまでにないビジュアル重点の過激なデザインと徹底した本格的データ分析を主体とした編集、コンピュータの本格的解析による徹底分析を実現。
この「パチンコ攻略マガジン」は当時としては画期的な「本格攻略情報雑誌」としてテレビ、新聞などで数多く取り上げられた。それ以来、これを追従した同種の攻略雑誌が次々と誕生する。

1988

●ビデオ「マル秘パチンコ攻略ビデオシリーズ」（双葉社）発売

1989

●「パチンコ攻略マガジン」月刊誌となる
●「パチンコ攻略マガジン必勝シリーズ」（新書判・双葉社）発行

1990

●雑誌「パチスロ攻略マガジン」創刊（隔月で発行）

1991

●株式会社ビー・ピー・エー設立
株式会社ビー・ピー・エー設立。
下宮比町・中興社ビルにてスタートを切る。

●フォトカタログ「SHOWER」発行

●販促ポスター写真
APA入賞作品・日本広告写真家協会

1992

●「必勝パチンコ・プロテク通信講座」発刊 プラントピア発行

●「パチスロ攻略マガジン」月刊誌となる
●「パチンコ＆パチスロ完全勝ち方本シリーズ」（文庫本・双葉社）発行

1993

雑誌編集部を下宮比町・津多屋ビルへ移転。

●「パチンコ攻略マガジン」 隔週刊誌となる

1994

本社を下宮比町・津多屋ビルへ移転。

●新企画事業部発足

●株式会社ビー・ピー・エーを株式会社プラントピアの事業部とする

●「パチマガKIDS」創刊（双葉社）
●「パチンコ攻略マガジン必勝王」創刊（双葉社）

1995

●CD-ROMマガジン
「パチスロ攻略マガジンCD-ROM」発売（双葉社）

●フォトカタログ「ECO SHOWER」発行

●「パチンコ攻略マガジン」創刊100号記念号発刊
●「パチスロ攻略マガジンSUPER」創刊（双葉社・不定期刊）

1996

●Mac WORLD EXPO'97 TOKYO（幕張メッセ）にプラントピアのブースを出展
●「Mac-DTP Perfect Master File」（プラントピア発行）

●単行本「パチンコ攻略マガジン攻略シリーズ」（双葉社）発行以後シリーズ発売
●「パチンコ攻略マガジンPOWERED」創刊（双葉社・不定期刊）

1997

●フォトカタログ「ECO SHOWER Vol.2」発行

本社および全セクションを津久戸町・第3都ビルに移転。

●「パチスロ攻略マガジンビデオ旅打ち編シリーズ」
「パチスロ攻略マガジンビデオBONUSシリーズ」（JIC）発売開始

1998

●パチマガ・スロマガ公式ホームページ『パチマガインターネット』立ち上げ
http://www.pachimaga.com/

●3DCG制作部発足

●フォトカタログ「ECO SHOWER FLOWER」発行

1999

●「パチンコ・パチスロ産業フェア」（幕張メッセ）のBiGチャンネルブース出展に提携参加
●ホール限定販売「BiGマガジン」企画・制作・発行（日本アミューズメント放送：発売）
●CS放送（SkyPerfecTV！）「BiGチャンネル」（現在、パチンコ・パチスロTV！）開局（日本アミューズメント放送）同局に業務提携番組企画及び番組監修業務
●パチマガ・スロマガ・ドラゴンTV用CM制作
●携帯電話Ez-Webで『パチマガ・スロマガEz』スタート

●建築パース制作業務開始

●ソフトウェア開発室発足

●イメージセッター導入
製版フィルム出力業務開始

●「パチスロ攻略マガジン・ドラゴン」創刊（「パチスロ攻略マガジン」増刊）

●「永久保存版・パチスロカタログ638」発売（双葉社）

2000

●社内サーバーを設立し、プラントピア及びPPAホームページ立ち上げ

●映像メディア事業部発足
●携帯電話ｉモードで『パチマガ・スロマガｉ』スタート
●『パチスロ攻略マガジンDVD』（双葉社）発行
●「パチマガ攻略ラジオ！ ゴリラのつぼ」スタート
（ラジオ日本1422kHz）

2001

●フォトカタログ「LIFE」発行

●携帯電話au動画公式サイト（Ezムービー）『PACHILAND』スタート（企画・運営）
●オンラインコミックサイト『コミックプラザ漫配』スタート　http://www.manpai.com/

●バーチャルタレント「Mai」を「文化庁メディア芸術祭企画展」に出展

●「パチスロカタログ2002」発売（双葉社）
●「パチスロ攻略マガジンドラゴン」独立創刊

2002

●フォトカタログ「DIGITAL COMMUNICATION」発行

●「パチスロ攻略マガジンSPECIAL」創刊（「パチスロ攻略マガジン」増刊）
●「パチスロ攻略マガジンエキスパート」創刊（「パチスロ攻略マガジン」増刊）
●単行本「パチンコ攻略マガジン攻略シリーズ ⑦・パチスロプロしのけんの喰うならやらねば 足跡集 Part2」
「パチンコ攻略マガジン攻略シリーズ ⑧・正統派パチンコ攻略マニュアル 釘本」（双葉社）発行
●「スロマガコミックV7」創刊（「パチスロ攻略マガジンドラゴン」増刊）

2003

●サンテレビにて『メダル王』放送開始
●「平ちゃんのパチンコ・パチスロ情報ラジオ！ゴリラのつぼ」に番組名変更（ラジオ日本1422kHz）
●『パチンコ攻略マガジン』『パチスロ攻略マガジン』広告取り扱い業務開始

●フォトカタログ「PET」発行

●高品質レンタルフォトサイト『WorldPhotoLand』を立ち上げる
http://www.world-photoland.com/

●「パチスロ攻略マガジンSP」創刊（「パチスロ攻略マガジン」増刊）
●「パチスロ攻略マガジンHANDY BIBLE 2003」（文庫本・双葉社）発行

2004

●ホールイベント業務開始

●フォトカタログ「AT HOME」発行

●弊社制作パチマガ・スロマガTVコマーシャル
（パチンコ・パチスロ専門チャンネル『パチンコ・パチスロTV!』〜Sky PerfecTV! 759ch〜にて放送中）

●「スロマガコミックV7」独立創刊
●「パチスロ攻略マガジンHANDY BIBLE 2004年完全版」（文庫本・双葉社）発行

更に現在も新たなる歴史が刻まれている